

平成20年度地域住宅モデル普及推進事業による展示住宅等の概要(平成22年度成果報告)

(兵庫県)

事業者名:一般社団法人ノオト

展示住宅等の建設地住所:兵庫県篠山市丸山37番地

事業者連絡先:079-552-5770

事業の種類: ①展示住宅、 ②生活体験施設

総事業費:1,600万円(うち補助金1,366万円)

基本性能等の基準: ①新築(長期優良タイプ)、 ②新築(長寿命化普及タイプ)、 ③改修



<展示住宅・生活体験施設の平面図>



<展示住宅等の仕様等>

主用途: 古民家

主体構造: 木造

建物規模: 地上一階

: 軒高3.640m

: 延床面積 165.3㎡

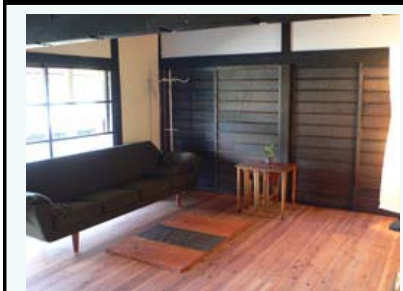
仕上げ概要: 屋根 茅葺き 一部瓦葺き

外壁 土壁 土壁一部漆喰仕上げ

一般床 畳 板張り

使用期間:

平成22年4月～平成31年3月



<展示住宅・生活体験施設の特徴>

- ①築150年を超える古民家を改修し、宿泊施設として利活用することで、過疎の集落の活性し、都市住民との交流をはかり、また日本の農村文化や、里山文化の意義を広く発信し、次の世代へつないでいくことを目的とした施設である。
- ②茅葺の分厚い屋根は断熱性が高く、広い通り土間や、開放的な縁側など伝統的な日本家屋の機能性を体感できるよさを残しながら、水周りなどを新しく備え、懐かしさも新しい快適な空間となっている。
- ③見晴らしのよい高台にあり、屋内には静謐な空気が流れている。ゆったりとした設え、アイランドキッチンや、薪ストーブ、井戸のある中庭など。

<平成22年度の成果>

①来場者数又は生活体験者数(平成22年4月～平成23年3月): 446名

②来場者又は生活体験者の主な声:

「落ち着いた古民家の空間と丸山の皆さまの温かいお人柄にホッとする時間でした。」「懐かしい」「時間の流れが緩やか」「のんびりした」

平成20年度地域住宅モデル普及推進事業による展示住宅等の概要(平成22年度成果報告)

(兵庫県)

事業者名: 一般社団法人ノオト

展示住宅等の建設地住所: 兵庫県篠山市丸山42番地

事業者連絡先: 079-552-5770

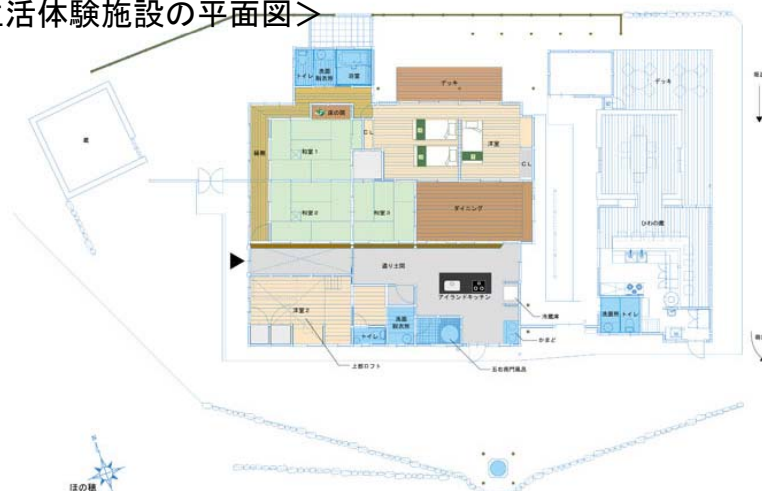
事業の種類: ①展示住宅、②生活体験施設

総事業費: 2,505万円(うち補助金2,037万円)

基本性能等の基準: ①新築(長期優良タイプ)、②新築(長寿命化普及タイプ)、③改修



＜展示住宅・生活体験施設の平面図＞



＜展示住宅等の仕様等＞

主用途: 古民家

主体構造: 木造

建物規模: 地上一階

: 軒高3.405m

: 延床面積 158.84㎡

仕上げ概要: 屋根 茅葺き 一部瓦葺き

外壁 土壁 土壁一部漆喰仕上げ

一般床 畳 板張り

使用期間:

平成22年4月～平成31年3月



＜展示住宅・生活体験施設の特徴＞

- ①築150年を超える古民家を改修し、宿泊施設として利活用することで、過疎の集落の活性し、都市住民との交流をはかり、また日本の農村文化や、里山文化の意義を広く発信し、次の世代へつないでいくことを目的とした施設である。
- ②茅葺の分厚い屋根は断熱性が高く、広い通り土間や、開放的な縁側など伝統的な日本家屋の機能性を体感できるよさを残しながら、水周りなどを新しく備え、懐かしくも新しい快適な空間となっている。
- ③板間の寝室、床暖房のあるリビング、バストイレ、キッチンに加えおくどさん(今は使用不可)や、五右衛門風呂(使用可)などがある。

＜平成22年度の成果＞

①来場者数又は生活体験者数(平成22年4月～平成23年3月): 437名

②来場者又は生活体験者の主な声:

- ・ 心から寛いだ。
- ・ これからの日本をどう考えていくかの大きな鍵が、丸山のすまいと運営にあると思います。いい体験でした。ありがとうございます。

平成20年度地域住宅モデル普及推進事業による展示住宅等の概要(平成22年度成果報告)

(兵庫県)

事業者名: 一般社団法人ノオト

展示住宅等の建設地住所: 兵庫県篠山市丸山39番地

事業者連絡先: 079-552-5770

事業の種類: ①展示住宅、②生活体験施設

総事業費: 1,379万円(うち補助金183万円)

基本性能等の基準: ①新築(長期優良タイプ)、②新築(長寿命化普及タイプ) ③改修



＜展示住宅・生活体験施設の平面図＞



＜展示住宅等の仕様等＞

主用途: 古民家

主体構造: 木造

建物規模: 地上一階

: 軒高3.405m

: 延床面積 158.84㎡

仕上げ概要: 屋根 茅葺き 一部瓦葺き

外壁 土壁 土壁一部漆喰仕上げ

一般床 畳 板張り

使用期間:

平成22年4月～平成23年3月

＜展示住宅・生活体験施設の特徴＞

①＜展示住宅・生活体験施設の特徴＞

- ①築150年を超える古民家を改修し、宿泊施設として利活用することで、過疎の集落の活性し、都市住民との交流をはかり、また日本の農村文化や、里山文化の意義を広く発信し、次の世代へつないでいくことを目的とした施設である。
- ②茅葺の分厚い屋根は断熱性が高く、広い通り土間や、開放的な縁側など伝統的な日本家屋の機能性を体感できるよさを残しながら、水周りなどを新しく備え、懐かしくも新しい快適な空間となっている。
- ③板間の寝室、床暖房のあるリビング、バストイレ、IHのキッチン、薪ストーブ、などがある。建具の付けはらずしで自由に空間が使える日本家屋の特徴を活かし、アート展示や、イベントなども開催できる。

＜平成22年度の成果＞

①来場者数又は生活体験者数(平成22年4月～平成23年3月): 166名

②来場者又は生活体験者の主な声:

「時間をわすれてゆったり自然と触れあいながら遊んでいる子供たちを見て、私の心もゆったりと、穏やかな気持ちになりました。」